

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

真夏の草刈り

私は、今年のクヌギ林のハサミで草刈りを行うまで何のための草刈りか目的を誤っていた。10数年前行った草刈りは、クヌギの植栽した後に行ったので苗木の生長を助けるための草刈りと桜林の一般の公園のようにきれいにする草刈りと同じ草刈りと考えていた。クヌギ林の斜面の草刈りは、希少植物を保護するための草刈りであるので希少植物を知らない者(私)は、笹だけを切ることには専念しなければいけない。

草刈りを真夏に行うのは被圧のピークに近くなること、加えて雑草が前年の生産の蓄積(主に根に蓄積)を使い果たし、かつ来春の生長に備えての生産の蓄積はまだ始まっていないからです。前年の蓄積が残っていたり今年の蓄積が始まっていると、下刈り後の再生力が強いので、この時期に草刈りが重要ですが、希少植物にも言えるので誤って切ってしまうと笹より影響があるので希少植物が枯れた後の晩秋か冬に「全刈り」をした方が希少植物に良い方法だとレンジャーからアドバイスを受けたので安全に笹をハサミで刈る作業を試みたが腕に筋肉痛がおきるくらい大変な作業であり効率も悪かったので冬で「全刈り」を行う作業にしていきたいと思った。希少植物の保全活動を行うのも活動の一つであると思うので希少植物に興味ある者を募って進めていきたい。

一昨年刈払機でのクヌギ林の笹刈りを行ったが回転数を落とすと草が絡んだり、伐根に気が付かず切り株に刺さったり、キックバックでビックリしたりで他の人の作業の半分も出来なかったが後半はどうかトラブルなく終わることが出来た。

刈払機の研修で刈払機は、重大なケガの事故が多く危ない機械であるが、安全な使い方、また、安全な機種もあることから雑木林ファンクラブの会員が減少し高齢化しているので、「全刈り」を行う場合に今まで以上に刈払機を使用して作業の軽減をしていきたい。

私が、知っている草花



フタリシズカ



シラン

橋詰

1. 7月の主な活動内容

- ① 6月24日(水) 12名 炭小屋整理
- ② 6月27日(土) 15名 駐車場草刈り、日清オイリオ間伐、ZFC通信印刷・発送
- ③ 7月1日(水) 4名 炭小屋整理
- ④ 7月4日(土) 12名 トウネズ伐採、製材
- ⑤ 7月8日(水) 7名 炭小屋整理
- ⑥ 7月11日(土) 17名 アキアカネの丘間伐、炭材づくり
- ⑦ 7月15日(水) 7名 炭小屋整理、炭材づくり
- ⑧ 7月18日(土) 18名 アカシア林伐倒、炭小屋下斜面地植生調査、炭材づくり、
檜皮はぎ、運営会

2. 運営会の報告

- ①8月22日 森の家バーベキュー場での暑気払い会参加希望者は8月15日までに鈴木さんあてに申し込み願います。
携帯電話番号:080-5377-4428
会費:男性2000円、女性500円
- ②7月29日 横浜栄高校の間伐体験についてセンターより当日の運営ならびに具体的な作業協力の説明を受ける。
- ③本年度2回目「炭焼き」体験は9月19日(土)・20日(日)に実施することになった。

3. 8月活動予定

- ①7月22日(水) 炭小屋整理、ドラム缶炭焼き準備
- ②7月25日(土) 間伐体験、ドラム缶炭焼き、ZFC通信印刷・発送
- ③7月29日(水) 横浜栄高校間伐体験、炭小屋整理
- ④8月1日(土) ドラム缶炭出し、アラカシ林間伐
- ⑤8月5日(水) 炭小屋整理
- ⑥8月8日(土) 炭小屋下斜面地調査(2区-5・6)
- ⑦8月12日(水) 炭小屋整理
- ⑧8月15日(土) アラカシ林間伐、運営会
- ⑨8月19日(水) 炭小屋整理
- ⑩8月22日(土) 暑気払い、ZFC通信印刷・発送
- ⑪8月26日(水) 炭小屋整理
- ⑫8月29日(土) 檜除伐

以上